

第106回日医定例代議員会 第60回日医定例総会

平成14年4月1日・2日
日本医師会館 大講堂



ISSN 0285-130X

旬刊

5.15.25日発行
(1部/200円)

広島県医師会速報の代金会
員負担1回(200円)は県医師
会費に含まれています。

第1791号

主な目次

第106回日医定例代議員会	4443413934
会長所信表明(坪井栄孝)	171615114 1
平成14年度事業計画	
中国四国医師会連合常任委員会	
第2回全国有床診療所連絡協議会役員会	
規制改革推進3か年計画	
第11回日本禁煙推進医師・歯科	
医師連盟総会(東京)	
第34回常任理事会(東京)	
医師会行事(3月)	
会員へのお知らせ(3月)	
地対協だより(3月)	

妊婦健康診査等委託単価	69686766
社保・国保の薬	646357554746
介護保険の恣ニ	
地区医師会ニ	
日医医師会ニ	
産業界ニ	
助成事業ニ	
医療時事ニ	
医師会保の	
医師協同組	
組合情報	

日医会長選投票6年ぶり

坪井栄孝会長を4選

診療報酬マイナス改定批判票も 女性常任理事が初入閣

平成14年4月1日(月)・2日(火)、標記定例代議員会等が開催された。今回は役員任期満了に伴い会長をはじめ、正副議長、副会長、理事、常任理事などの選挙が行われ、4期目に向けた坪井執行部の新キャビネットの顔ぶれが決まった。1期2年間日医理事を務めた真田広島県医師会会長は任期を終え退任した。



坪井 栄孝 会長

1日は定刻午前10時に開会し、まず前日3月31日をもって任期満了となり空席となった正副議長に代わり、定款に則り仮議長に最年長者の宮崎静治氏(和歌山県)を選出。宮崎仮議長は事務局に点呼を取らせ、338名中337名が出席。会の成立を宣言し、議事録署名人を指名、議長選挙に入った。

議長 長に関原敬次郎氏(福岡県)新任
副議長は石川 育成氏(岩手県)再任

議長候補者は定数1名に対し関原敬次郎代議員(福岡県)、内藤哲夫代議員(神奈川県)の両氏が立候補、投票の結果関原敬次郎氏が議長に当選と決定。

副議長候補者は石川育成代議員(岩手県)1名につき、無投票での当選と決定した。

ここで議事運営規則に従い議事運営委員会を設置することを伝え、各ブロックから選出された8名の委員名を発表。中国四国ブロックからは大石 徹代議員(鳥取県)が選出された。

ついで会長並びに役員、裁定委員の選挙に入った。まず会長候補者は定数1名に対し坪井 栄孝(福島県)、西 祥太郎(京都府)の両氏が立候補、投票の結果、
会 長 坪 井 栄 孝 氏
が当選決定した。

副会長は定数3名に対し届出5名であったが、坪井会長当選により対抗立候補者が辞退。その結果、
副会長 糸 氏 英 吉 氏
" " 石 川 高 明 氏
" " 青 柳 俊 氏

の各氏が当選。
理事は定数13名中届出13名で、無投票で当選が確定。中国四国ブロックからは、長田昭夫氏(鳥取県)、形見重男氏(香川県)が当選した。

また、常任理事は、定数10名中届出17名であったが、これも副会長選同様対抗立候補者辞退により、後掲の各氏が当選。監事は定数3名中3名、裁定委員は定数11名中11名で、いずれも無

投票で当選が確定した。裁定委員には本県から 鎌見勝則氏(広島県)が再選された。

その後、新役員が登壇、各自が紹介され、坪井会長が代表して「日本医師会の会務執行に万全を期すとともに国民の医療を守る責任者として志を高く掲げ日本の医療の発展に尽くしていきたい」と挨拶し、初日は以上で終了した。

2日も定刻午前10時に開会。坪井会長が基調挨拶(全文後掲)を行い、今回多くの先生方からのご批判をいただいた事実に対し謙虚に受け止め、日本医師会の健全な発展のための貴重な意見として会務に反映していきたい。日本の医療政策のオピニオンリーダーとして、高い志の下で、国民が最も望んでいる医療のあり方を見極めつつ、子孫末代まで日本に生まれてきてよかったと国民に思われるような医療制度を作り上げると所信表明した。

ついで、このたび引き続き就任した森 巨日本医学協会会長が「日本医学会は日本医師会の一部として位置づけている。今年創立100周年を迎え明年福岡で第26回総会を開催する。信頼を失った社会の中で学問での信頼を勝ち取る。医師会と医学会は車の両輪で欠かすことはできない。ご支援ご指導を賜りたい」と就任挨拶した。

ついで、過去1年間の物故会員1409名のご冥福を祈り1分間の黙祷を捧げたのち、平成13年度会務報告に入り、慣例により糸氏英吉副会長が簡潔に報告した。

その後、会務報告に対する質疑応答に移り、ブロック代表質問では、中国四国ブロックから末長 敦代議員(岡山県)より「診療制度改革に対する日本医師会の取り組みについて」質問。

個人質問は、本県より青山 喬代議員が「診療報酬の再改定について」、碓井静昭代議員が「診療報酬引き下げへの日医の対応について」質問、菅谷、雪下日医常任理事がそれぞれ答弁した(後掲)。

平成14年度事業計画

160億円一般会計予算を承認

個人質問の途中、つぎの第1号議案から第8号議案までが上程され、それぞれ提案理由が説明され、全議案とも承認可決された。

第1号議案 平成13年度日本医師会会費減免申請の件

第2号議案 平成14年度日本医師会事業計画の件(資料後掲)

第3号議案 平成14年度日本医師会予算の件(一部資料後掲)

第4号議案 平成14年度医賄責事業特別会計予算の件

第5号議案 平成14年度日医総研事業特別会計予算の件

第6号議案 平成14年度診療情報の提供の環境整備事業特別会計予算の件

第7号議案 日本医師会会費賦課徴収の件(資料後掲)

追加議案(理事者提案)
第8号議案 日本医師会役員等功労金支給の件

さらに辻 政義代議員(福岡県)より緊急動議が提案され今回の診療報酬マイナスイラス改定に対する抗議文を正副議長名で与党執行部に提出することを採択、承認可決した。

役員

会長 坪井 栄孝 (福島県)

副会長 糸氏 英吉 (大阪府)

理事 " 石川 高明 (埼玉県)

" 青柳 俊 (北海道)

〇梅田 俊彦 (石川県)

新 日本医師会役員及び裁定委員

任期…平成14年4月1日～平成16年3月31日

〇印新任

● 会長選挙開票結果 (敬称略)

坪井 栄孝 (福島県) 137191 票

西 祥太郎 (京都府) 9 票

白 票

● 議長選挙開票結果 (敬称略)

関原 敬次郎 (福岡県) 165170 票

内藤 哲夫 (神奈川県) 2 票

白 票

午後4時から第60回日本医師会定例総会が開催された。坪井会長は、全てこの2日間の定例代議員会での報告、承認事項と同様であるとして全員拍手裡に承認、2日間の全日程を終了した。

本会からは日医代議員として、真田幸三会長、石井大二、桧田 仁、桑原正彦、青山 喬、寺岡 暉、碓井静照、黒瀬康平、横山 隆、福永 泰州の各氏が出席、横殿 敦広島県医師会常任理事、温泉川梅代広島市医師会理事、空本栄二事務局長、遠藤英史広報情報課長、島田直樹総務課書記が傍聴した。

以上

裁定委員

監事

常任理事

〇宇野 義知 (富山県)	〇降旗 啓恵 (長野県)	〇岡田 弘三郎 (兵庫県)	〇金上 幸夫 (青森県)	〇青木 宣昭 (東京都)	〇安倍 保正 (北海道)	〇鮫島 耕一郎 (鹿児島県)	〇関口 幸三 (群馬県)	〇松本 幸三 (栃木県)	〇酒井 勝朗 (東京都)	〇諫見 勝則 (広島県)	〇倉品 克明 (新潟県)	〇横田 耕三 (京都府)	〇井石 哲哉 (長崎県)	〇澤 倫太郎 (東京都)	〇柳田 喜美子 (宮崎県)	〇青井 禮子 (東京都)	〇宮坂 雄平 (長野県)	〇星 北斗 (福島県)	〇羽生田 俊 (群馬県)	〇雪下 國雄 (神奈川県)	〇西島 英利 (福岡県)	〇櫻井 秀也 (東京都)	〇菅谷 忍 (大阪府)	〇飯塚 弘志 (北海道)	〇形見 重男 (香川県)	〇梅園 忠 (千葉県)	〇長田 昭夫 (鳥取県)	〇米盛 学 (鹿児島県)	〇田中 忠一 (鹿儿島県)	〇西村 亮一 (神奈川県)	〇寺田 俊夫 (兵庫県)	〇佐々木 健雄 (秋田県)	〇稲富 洋明 (東京都)	〇山敷 祐亮 (沖縄県)	〇山本 器 (滋賀県)
--------------	--------------	---------------	--------------	--------------	--------------	----------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	---------------	--------------	--------------	-------------	--------------	---------------	--------------	--------------	-------------	--------------	--------------	-------------	--------------	--------------	---------------	---------------	--------------	---------------	--------------	--------------	-------------

